

コスモス 12月号

第71巻 第12号

◆宮柽二カレンダー(57) 十二月の歌

除夜の鐘空わたりきぬ涙して六十六歳をおく
らんとすも
歌集『緑金の森』

『緑金の森』の〈年暮・元旦・夢〉八首の一首。
初出は「文芸春秋」昭和54年2月号。「涙して六十
六歳をおくらんとすも」という痛ましい表現は、昭
和51年の発病が原因と思われる。12月26日夜、食事
中に嚥下および発声が不自由になり、朝日生命成人
病研究所付属病院に入院して軽度の脳梗塞の診断が
なされる。翌年1月14日退院するも、以後、徐々に
手足や発音が不自由になる。発病と重なり、芸術院
賞や宮中歌会始の選者、新潟日報文化賞など数々の
慶事が続く。
(丹波 真人)